

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.127; 表紙,目次ほか

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5704

Senri Ethnological Reports
127

SER 127

国立民族学博物館
調査報告 | **127**

**Aspects of Leader-Worship
in Modern Societies**

Edited by
Min Han

National Museum of Ethnology
2015 Osaka

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-30-3 C3036



近代社会における指導者崇拜の諸相

韓敏編

**近代社会における
指導者崇拜の諸相**

韓敏編

国立民族学博物館 2015

国立民族学博物館 調査報告

127

近代社会における指導者崇拜の諸相

韓 敏 編

国立民族学博物館

2015

目 次

序論 近代社会の指導者崇拜に関する人類学的アプローチ	韓 敏	5
1. 指導者崇拜——20世紀の近代国家における文化的、政治的現象		5
2. 複数の地域と異なる社会体制からの比較		7
3. 指導者崇拜の共通点		9
3.1 指導者崇拜の温床——ナショナリズム	9	
3.2 カリスマ性	9	
3.3 政党や政権内部から一般社会へ	10	
4. おわりに——指導者崇拜の行方		10
第1章 近代中国の孫中山崇拜	陳蘊茜著 / 徐素娟訳	15
1. 政権の合法性と孫文というシンボルの構築		15
2. 国民政府と孫文崇拜の普及		19
2.1. 祝祭日における孫文シンボルの構築	19	
2.2. 空間における孫文シンボルの表象	23	
2.3. 儀礼からみる孫文シンボルの発信	26	
3. 孫文崇拜と近代国家のアイデンティティ		28
4. おわりに		30
第2章 近代中国における毛沢東崇拜の成り立ち	韓 敏	35
1. はじめに		35
2. 権力と個人崇拜		36
2.1 中国の社会実情にあう農民運動と土地革命の提唱	40	
2.2 農村・農民重視の戦略と戦術	41	
3. マルクス主義の中国化と毛沢東思想の形成		43

4. 毛の肖像, グッズ, 題字と歌謡からみる社会への浸透	47
4.1 公的空間における毛沢東肖像の使用	47
4.2 題字	48
4.3 歌の中の毛沢東	50
5. 外国人ジャーナリストによる記述	52
5.1 軍・政府・党におけるカリスマ指導者	53
5.2 伝説の記述	54
6. おわりに	55
第3章 モンゴルの民族英雄としてのスフバータルとウランフ	
..... ナサンバヤル著 / 徐素娟訳	61
1. 序文：問題提起	61
2. 歴史人物としてのスフバータルと歴史記憶の中のスフバータル	62
3. 歴史人物としてのウランフと歴史記憶の中のウランフ	68
4. 考察：比較のパースペクティブ	74
第4章 ルーマニアにおける二つの指導者崇拝——コドレアヌとチャウシェスク	
..... 新免 光比呂	79
1. はじめに	79
2. コドレアヌと指導者崇拝	81
2.1 レジオナル運動とは	81
2.2 使命の自覚	81
2.3 組織と行動	82
2.4 不可解な死と政治的挫折	83
3. チャウシェスクと指導者崇拝	85
3.1 チャウシェスク体制とは	85
3.2 権力への道	86
3.3 権力の強化	87

3.4 権力の肥大, そして個人崇拜へ	88
4. 個人崇拜・イデオロギー・社会	88
4.1 二つの近代化	88
4.2 ルーマニアにおける社会運動と農村	89
4.3 ルーマニアの政治文化と宗教	91
5. おわりに	93
第5章 西アフリカにおける指導者崇拜	竹沢 尚一郎 97
1. はじめに：問題の所在	97
2. 指導者崇拜の二つのタイプ	98
3. ゴールドコースト（ガーナ）とンクルマの経歴	100
4. パンアフリカニズムの旗手としてのンクルマ	102
5. 独立までのコートジボワールとウフェ＝ボワニの歩み	105
6. ウフェ＝ボワニ政治とその評価	107
7. おわりに：西アフリカにおける指導者崇拜	109
後書き	韓 敏 117
付録 研究フォーラム参加者とプログラム	119
索引	121
執筆者紹介	125

後書き

本論文集に収録した論文は、2008年3月24日（月）、25日（火）に国立民族学博物館開催された研究フォーラム「近代社会における指導者崇拜」（代表：韓敏）で報告されたものに基づいている。

2日間にわたって、民博の教員、外国人客員研究員、外来研究員および館外から計17名の研究者が出席した。参加者は、近代の指導者個人崇拜の生成要因、崇拜の形態、その行方について、東アジア、東北アジア、東欧社会及び西アフリカの事例を通して、活発な議論が行われた。特に中牧弘允先生、佐々木史郎先生、横山廣子先生、思沁夫先生と井上まどか先生が個人崇拜と社会制度、新しい国民文化、あるいは人民文化との関連性、社会主義遺産の扱い方、宗教信仰との関連性、指導者の人格とそのカリスマ性、崇拜の地域性と階層性などの諸問題について有益なコメントをくださった。これらの議論とコメントは、言うまでもなくわれわれにとって今後取り組むべき重要な課題である。

研究フォーラム開催の段階から刊行に至るまでの長い年月の編集作業は、枝光ユミさんと吉村美恵子さんに手伝っていただいた。大阪大学大学院生の徐素娟さんは当日の通訳のみならず、後の中国語論文も翻訳してくださった。小長谷有紀先生と黒田悦子先生からは研究フォーラムの実施と本の編集についてアドバイスをいただき、また本館編集室の古口順子さんには本書の出版に尽力していただいた。

研究フォーラムの開催と本書の出版にさまざまな形でご支援いただいたすべての方々に、この場を借りて謝辞を述べたい。

編者 韓 敏
2015年2月16日

付録

研究フォーラム参加者とプログラム

時間：2008年3月24日（月）～25日（火）

場所：国立民族学博物館 第6セミナー室

24日（月）

- 13：30-13：40 趣旨説明：韓敏（民博）
- 13：40-14：40 発表：陳縑茜 Chen Yunqian（中国・南京大学歴史学部）
中華民国の国民国家の建設過程における孫文の個人崇拜
The Cult of Sun Yat-sen in the Progress of Constructing Nation-state in
Republic of China
- 14：40-15：10 コメント：韓 敏
質疑応答
- 15：10-15：30 休憩
- 15：30-16：30 発表：Nasan Bayar（中国・内蒙古大学民族学・社会学学院）
ネーションとエスニック英雄としてのソホバトルとウランフ
—比較の視点
Suhebaatar and Ulanhu as National/Ethnic Heroes: A Comparative
Perspective
- 16：30-17：30 コメント：思沁夫（大阪大学）
質疑応答

25日（火）

- 10：00-10：50 発表：韓敏
近現代中国における毛沢東の象徴的意味
Symbol Meanings of Mao Zedong in Modern China
- 10：50-11：10 コメント：佐々木史郎（民博）
質疑応答
- 11：10-12：00 発表：新免光比呂（民博）
コドレアヌとチャウシェスク
—ルーマニアにおける指導者崇拜の系譜
Codreanu and Ceausescu—The Personal Worship of Leaders in Romania
- 12：10-12：40 コメント：井上まどか（成城大学）
質疑応答

- 12：40-14：00 休憩
- 14：00-14：50 竹沢尚一郎（民博）
 独立後西アフリカの指導者崇拜
 Personal Worship of Leaders of the Independence of West Africa
- 14：50-15：20 コメント：新免光比呂
 質疑応答
- 15：20-15：40 休憩
- 15：40-17：00 総合討論（司会：新免光比呂）
 コメント：中牧弘允

参加者

（館内）

- 韓 敏 民族社会研究部・准教授
- 新免光比呂 民族文化研究部・准教授
- 竹沢尚一郎 民族文化研究部・教授
- 中牧弘允 民族文化研究部・教授
- 佐々木史郎 研究戦略センター・教授
- ナサンバヤル 外国人研究員（内蒙古大学民族学与社会学学院民族学系・教授）
- 横山廣子 民族社会研究部・准教授
- 楊国才 外国人研究員（雲南民族大学・教授）
- 川口幸大 機関研究員
- 那沁 外来研究員
- 永花 外来研究員
- 陳夏晗 総合研究大学院大学・院生

（館外）

- 陳蘊茜 中国・南京大学歴史学部・准教授
- 井上まどか 成城大学・非常勤講師
- エルデンチロ 京都大学・研究生
- 徐素娟 大阪大学・博士課程院生
- 思沁夫 大阪大学・サステイナビリティ・サイエンス研究機構・特任研究員

索引

◆ア行

愛国主義教育基地 8, 71
アイデンティ 7, 9, 18, 26, 28-31, 56, 62, 67, 68
アシャンティ王国 100, 111
アシュケナージム 90
アブドレイ・ワデ (Abdoulaye Wade) 99
アフリカ
—植民地 106
—独立の年 97
—連合 104, 105
アヘン戦争 61
アメリカ合衆国 97, 100, 103, 107, 112
アレクサンドル・クーザ (Alexandru Cuza) 81, 82
アンダーソン 110
イオン・モツァ (Ion Moța) 83
イギリス 6, 97, 100, 101, 111
イデオロギー 5, 8, 15, 19, 23, 24, 27, 29, 31, 35, 44, 45, 47, 55, 56, 74, 75, 80, 88, 99
ウェーバー 15, 33
内モンゴル自治区 68, 70, 72, 73, 76
ウフェ＝ボワニ (Félix Houphouët-Boigny) 8, 9, 12, 97, 98, 99, 106-113
—法 107
ウランバートル 61, 64, 65, 69
ウランフ (Ulanhu) 6, 8-10, 61, 62, 68-76
—記念館 8, 71
—崇拜 6, 62, 71
映画 8, 24, 48, 65, 66, 74, 88
英雄崇拜 5, 6, 9, 13, 53
エジプト 97, 103
延安 35, 41-45, 47-51, 53, 55, 57-59, 69, 74
袁世凱 15
オクタヴィアン・ゴガ (Octavian Goga) 84
汚職 109, 111
「穏寛長」の原則 70

◆カ行

ガーナ帝国 112

カーライル (T. Carlyle) 6, 13
会議人民党 103-106
カカオ 99, 101, 102, 104-107, 109, 110, 112
—栽培 106
—生産 100, 104
革命党 7, 15, 16
活仏 64, 66
ガマル・ナセル (Gamal Nasser) 97
カリスマ 5, 7-10, 12, 13, 15, 16, 35, 37, 42, 45, 52-55, 59, 79, 81, 89, 93, 94, 97, 102, 107, 110
カロール2世 (Carol II) 83
観光 13, 42, 59
喚起的媒体 (evocative transcript) 77
ギアツ 26, 33
切手 7, 8, 24, 47, 48, 55, 60, 65, 72
ギニア 97-99, 104-106, 108, 112
ギニアビサウ 97, 104, 112
郷愁 56, 84, 86
記念
—館 31, 50, 51, 59, 67, 74, 76, 105
—日 7, 10, 18, 19, 21-23, 26, 28-31, 49
—碑 23, 24, 29
共産主義 36, 44, 45, 52, 53, 56, 57, 71, 112
キリスト教民族防衛連盟 (L.A.N.C) 82
義和団運動 (1899-1900) 61
近代化 5, 35, 55, 75, 80, 84, 88, 89, 98
金日成崇拜 88
クーデター 41, 84, 97-99, 102, 104, 105, 109, 110, 112
グローバリゼーション 43
ゲオルゲ・ゲオルギウ・デジ (Gheorghe Gheorghiu-Dej) 80, 85, 87, 92
ケニア 97, 104
現実主義 8, 12, 98, 100, 107, 110, 111
ゲンチェア墓地 (Gencea) 85
権力テクニク 16, 23
コートジボワール 5, 7-9, 12, 97-99, 105-109, 112-114

—の奇跡 99, 108
コーヒー 99, 106, 107, 109, 110
ゴールドコースト 100-102, 112
合法性 15-18, 64, 66, 67
国父 7, 10, 15-19, 28, 31
国民
—国家 5-10, 15, 17-19, 28, 30, 31,
35, 43, 56, 67, 74, 110
—統合 8, 110, 111
国連 97, 103, 104, 107, 109
個人崇拜 5-8, 10, 12, 16, 31, 36, 48, 56,
59, 67, 80, 81, 85, 86, 88, 92, 93
国家
—建設 7, 8, 15, 17, 18, 110, 111
—による崇拜 11
コドレアヌ (Corneliu Zelea Codreanu) 8,
9, 79-85, 88, 89, 91-93, 95
コミュニテル 7, 64, 65, 69
ゴムルカ 93
コロニアリズム 103
コンゴ 97, 104, 114

◆サ行
賛美歌 92
「三不両利」政策 70, 72, 76
三民主義 5, 10, 17, 19, 20, 23-27, 30
資本主義 5, 8, 35, 43, 55, 64, 70, 80, 82,
88-90, 92, 103, 104
自主独立路線 100
紙幣 7, 12, 47, 48, 55, 67
社会記憶 74
社会主義 5, 7, 10, 11, 35, 40, 43, 44,
55-57, 64, 66, 67, 70, 72, 75, 77, 80, 82,
85-89, 91-93, 103-105, 108, 112
—近代化 8, 71
宗教 5, 7, 27, 32, 62, 78, 91, 92, 94, 98
—的権威 98
集団記憶 26, 27
徐樹錚 61, 63
肖像 7, 10, 11, 42, 45-49, 55, 60, 65, 67,
71, 80
植民地 8, 44, 97, 99, 100, 102, 103,
106-108, 110, 115
—主義 103, 107, 112, 114
韶山 36, 56, 59
ジョモ・ケニアッタ (Jomo Kenyatta) 97

辛亥革命 36
神格化 9-11, 13, 16, 54, 55, 59
神聖
—王 98
—化 10, 11, 15, 17, 26, 27, 55
神秘主義 92
神話 18, 66, 67, 74, 94, 108, 112, 113
—化 86
スターリン 44, 45, 47, 65, 67, 80, 92, 93
—崇拜 85, 88
スノー 52-54, 58, 60
スファルディム 90
スフバートル (Sühbaatar) 61-68, 71, 74,
75
「すべてを祖国のために」(Totul Pentru Țara)
84
スローガン 21, 22, 28, 32, 48, 49
政治文化 15, 81, 91
聖者崇敬 92, 93
聖地 10, 23, 42, 59
整風運動 44, 45, 48, 49, 55, 59
セク・トゥーレ (Sekou Touré) 97
セネガル 97-99, 106, 107, 112
戦間期 90
象牙海岸 106
宗主国 8, 98, 99, 104, 110, 111
「総理遺言」 17
祖先崇拜 5, 16
ソビエト政権 41, 62, 63
ソ連 5-7, 36, 37, 40-42, 44, 45, 55, 57, 61,
63-69, 85, 87, 92, 103, 105
—共産党 (ボルシェビキ) 63
孫中山 15, 23, 32, 33, 43, 58
孫文 5-7, 9-11, 15-21, 23-32, 36, 40, 41,
48, 57

◆タ行
題字 7, 47-50, 55, 57, 60
第1回アフリカ人民会議 103, 104
対外協調主義 8, 100, 108
大恐慌 88
大衆動員 59, 80, 88
大天使ミカエル軍団 (Legiunii Arhanghel
Mihail) 83
大ルーマニア 79
多民族国家 5, 98, 110, 111

- 知識人 40, 53, 67, 73, 76, 84, 87, 89, 93, 101
 チャウシェスク (Nicolae Ceaușescu) 8, 9, 11, 80, 81, 85-88, 91, 92
 ——崇拜 80, 81, 86, 88, 93
 中華人民共和国民族区域自治法 71
 中華民国の魂 17
 中華民族 8, 17, 19, 28, 31, 32, 44, 46, 74
 忠誠 16, 27, 92
 中仏戦争 (1883-85) 61
 チョイバルサン 62, 65-67
 中山
 ——県 23
 ——服 25
 ——陵 23, 24, 26, 29, 31
 中国化 7, 35, 43-45, 47, 55, 56
 チンギス・ハーン 6, 8, 11, 67, 68
 鉄衛団 (Garda de Fier) 83, 84
 テロリズム 80
 東方勤労者共産大学 69
 『東方紅』 11, 51, 52
 銅像 8, 10, 11, 23, 24, 29, 105
 徳王 69, 75, 76
 独立運動 5, 6, 8, 11, 12, 35, 66, 68, 102, 104, 112
 独立国家 5, 9, 10, 35, 61, 64
 土地革命 11, 57
 ドゴール 104, 106, 107
 奴隷 90, 97, 100
- ◆ナ行
 ナイジェリア 108, 110, 111
 ナショナリズム 7-9, 12, 28, 29, 31, 35, 42, 43, 47, 50, 51, 55, 56, 68, 74-76, 97-99, 108, 110
 ナチズム 79, 81, 92
 ニコラエ・ヨルガ (Nicolae Iorga) 81, 83
 西アフリカ 5-8, 12, 97-99, 104-109, 112, 115
 日清戦争 (1894-95) 61
 日本 6, 9, 13, 18, 36, 42, 53, 57, 59, 75, 76, 78, 94, 99, 108, 114, 115
 ネオコロニアリズム 108
 農場労働者 91
 農村 10, 31, 37, 41, 42, 88-92, 94, 110
 農地改革 91
- 農民 7, 8, 11, 22, 37, 40, 41, 44, 51, 52, 54, 55, 57, 60, 61, 68, 80, 89-92, 99, 101, 102, 104, 106, 107
- ◆ハ行
 バッジ 11, 42, 47, 48, 59
 発展のない成長 113
 バトリス・ルムンバ (Patrice Lumunba) 97
 バンアフリカ 101
 ——ニズム 8, 99-105, 110, 112
 反ソ感情 87
 反ユダヤ主義 79, 81
 「東庫倫」グループ 62, 63, 65-67
 東ドイツ 93
 ヒトラー (Hitler) 79
- 広場
 スフバータル—— 65, 67
 中山—— 10
 フーコー 23, 32
 ファシズム 79, 81, 85, 92
 腐敗 109-111
 フフホト 68, 70-73
 ブラハの春 87
 フランス植民地 106, 113
 フランス共同体 104
 フルシチョフ 67
 ブルデュー 29, 32
 プロバガンダ 17, 18, 28, 57, 59, 85, 86, 88
 文化大革命 10, 35, 51, 59, 70, 71, 93
 北京 16, 23, 26, 32, 33, 36, 40, 49, 52, 56, 59, 60, 69, 70, 75-78
 ホー・チミン 5, 6, 93, 98
 ホーネッカー 93
 ポーランド 81, 92
 暴力 15, 80, 81, 84, 90, 102
 ボエンマンド (博彦満都) 74
 北洋 (北京) 政府 16
 ホリア・シマ (Horia Sima) 85
- ◆マ行
 マクファーカー (MacFarquhar) 42
 マリ 97-99, 104, 106, 107, 111, 112
 マルクス 7, 35, 43-47, 50, 55, 57, 58
 ——主義 7, 35, 36, 40, 43-45, 47, 55-57, 69, 112
 ミハイ・ステレスク (Mihai Stelescu) 84

民族

- 英雄 8, 31, 65, 67
- 主義 73, 81, 82, 87, 89, 92, 95
- の象徴 62

民謡 7, 11, 41, 51, 52, 55

ムッソリーニ (Mussolini) 79

盟旗 61, 70, 77

メディア 28, 30, 48, 49

毛沢東 5, 7, 9-11, 13, 35-37, 40-60, 69-71, 76, 93, 98

- 思想 43-46, 57, 60, 70

- 崇拜 7, 11, 36, 45, 47, 54-56, 88

モスクワ中山大学 69

- 派 87

モディボ・ケイタ (Modibo Keita) 97

モンゴル

- 革命 66, 67, 74
- 人民義勇軍 63
- 人民共和国 11, 61, 64, 65
- 人民党 61, 62, 63, 65, 67
- 帝国 67

◆ヤ行

ユダヤ人 79, 80, 82, 83, 89, 90, 91

◆ラ行

理想主義 8, 12, 98-100, 105, 110, 111

領事館グループ 62, 63, 66, 67

リンカーン大学 100, 101

ルーマニア

- 正教会 83, 89, 91, 92

- 民族 81-84, 89

レーニン 5, 6, 11, 44, 45, 47, 65, 66, 93

- 主義 7, 35, 43-46, 50, 55, 57, 58

レオポール・サンゴール (Léopold S. Senghor) 97

歴史記憶 62, 67, 68, 74, 75

レジオナール運動 (Mișcarea Legionară) 8, 79-81, 83-85, 88, 91, 92

ローザ・ルクセンブルク 93

ロシア 61-63, 75, 93

- 革命 57, 62, 63

◆ワ行

ンクルマ (Kwame Nkrumah) 8, 9, 11, 12, 97-105, 107, 108, 110-115

執筆者紹介（執筆順）

韓敏 Han Min

国立民族学博物館民族社会研究部教授。専攻は文化人類学・中国研究。著書に*Social Change and Continuity in a Village in Northern Anhui, China: A Response to Revolution and Reform* (Senri Ethnological Studies 58, 国立民族学博物館 2001), 『革命の実践と表象：現代中国への人類学的アプローチ』（風響社 2009）など。

陳蘊茜 Chen Yunqian

南京大学歴史学部教授。専攻は中国近現代社会文化史研究。著書に『崇拜与記憶——孫中山符号的建築与伝播』（南京大学出版社 2009），共著に陳蘊茜等著『記念空間与辛亥革命百年記憶』（華中師範大学出版社 2011）など。

ナサンバヤル 那順巴依尔 (Nasunbayar)

内蒙古大学民族学与社会学学院教授。専攻はモンゴル社会と文化の変遷，民族アイデンティティ，近代化の研究。著作に『蒙古文学叙事模式及其文化蘊涵』（内蒙古教育出版社 2002），編著に『二十世紀西方文学理論概述』（内蒙古教育出版社 1991）など。

新免光比呂 Shinmen Mitsuhiro

国立民族学博物館民族文化研究部准教授。専攻は宗教学・東欧研究。著書に『祈りと祝祭の国——ルーマニアの宗教文化』（淡交社 2000），共著に，保坂俊司・頼住光子・新免光比呂著『人間の社会と宗教』（北樹出版 1998）など。

竹沢尚一郎 Takezawa Shoichiro

国立民族学博物館民族文化研究部教授。専攻は宗教人類学，アフリカ史研究。著書に，『西アフリカの王国を掘る——文化人類学から考古学へ』（臨川書店 2014）『被災後を生きる——吉里吉里・大植・釜石奮闘記』（中央公論新社 2013）など。

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<http://ir.minpaku.ac.jp/dspace/handle/10502/49>

- No.126 バウイナンガ・アボリジナル組合の議事録 (1978～1994) から見る対アボリジニ政策とインフラ整備の歴史——マニングリダと周辺アウトステーションの活動史 (2015; 久保正敏・堀江保範編著; 日本語)
- No.125 *Asian Museums and Museology 2013: International Research Meeting on Museology in Myanmar* (2015; eds. Naoko Sonoda, Katsumi Tamura, Nu Mra Zan; 英語)
- No.124 土方久功日記V (2014; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.123 *Некоторые археологические находки Монголо-советской экспедиции под руководством С. В. Киселева: Городище Каракорум, коллекция Государственного Эрмитажа* (2014; Редактор Юки Конагая, Автор Ю. И. Елихина (小長谷有紀編, J. I. エリーヒナ著); ロシア語・英語)
- No.122 梅棹忠夫のモンゴル調査 ローマ字カード集 (2014; 小長谷有紀編; 日本語)
- No.121 *Mongolia's Transition from Socialism to Capitalism: Four Views* (2014; Interviews Conducted by Yuki Konagaya and I. Lkhagvasuren, Translated by Mary Rossabi. Edited and Introduced by Morris Rossabi; 英語・モンゴル語)
- No.120 *Healing Alternatives: Care and Education as a Cultural Lifestyle* (2014; ed. Nanami Suzuki; 英語)
- No.119 20世紀におけるブリヤート人たち——中国内モンゴル自治区フルンボイルにおける口述史 (2014; 小長谷有紀・サラングレル・ソヨルマ編; モンゴル語・日本語)
- No.118 世界における無国籍者の人権と支援——日本の課題——国際研究集会記録 (2014; 陳天璽編; 日本語・英語)
- No.117 中央アンデス農耕文化論——とくに高地部を中心として—— (2014; 山本紀夫著; 日本語)
- No.116 中国鄂伦春語方言研究 (2014; 韓有峰・孟淑賢著; オロチョン語・中国語)
- No.115 モンゴル国における20世紀(3) (2013; 小長谷有紀・J. ルハグワテムチグ・Ma. ロッサビ・Mo. ロッサビ編; 日本語・モンゴル語・英語)
- No.114 モンゴル口頭伝承の一資料 (2013; 小長谷有紀・斯琴編; モンゴル語・ロシア語)
- No.113 *Монголын Бурханы Шашны Соёл: Хэнтий, Хангайн Сүм, Хийдийн Судалгаа* (2013; М. И. Клягина-Кондратьева, Хэвлэлд бэлтгэж, хянасан, С. Чулуун, Т. И. Юсупова (M. E. クリヤーギナ-コンドラティエワ著, S. チョローン・T. I. ユスポワ共編); モンゴル語・ロシア語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤健一 館長
岸上伸啓 副館長
久保正敏 副館長
韓 敏 民族社会研究部
池谷和信 民族文化研究部
寺田吉孝 先端人類科学研究部
塚田誠之 研究戦略センター（研究出版委員長）
野林厚志 文化資源研究センター

平成27年3月25日発行

国立民族学博物館調査報告 127

編 者 韓 敏

発 行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印 刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
